

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◆ 所得税の総調査件数が7万件増加

Q : 所得税の調査件数が大幅に増加していると聞いたのですが、本当でしょうか。

A : 実地調査は減少していますが、簡易な接触が大幅に増加しています。

【解説】

国税庁はこのほど、平成12事務年度（平成12年7月～平成13年6月）の間に行った個人課税部門（所得税・消費税担当）の調査等の状況を取りまとめました。

それによると、調査等の総件数は83万1千件で、前事務年度の75万8千件から7万件以上増加しています。そのうち所得税にかかるものが81万7千件（前事務年度74万9千件）と、その大部分を占めています。

所得税の調査等の81万7千件のうち、実地調査を行ったものは9万3千件（同12万6千件）、実地調査に至らない程度の是正のための簡易な接触は72万4千件（同62万3千件）でした。

この簡易な接触は、例年、お盆休み明けの8月下旬ぐらいから開始されていましたが、平成12事務年度では極力早期に行われたようです。したがって、簡易な接触の件数が絶対的に増えたというよりも、次の事務年度で通常行われるはずの簡易な接触の件数が前事務年度の12事務年度に前倒しされた結果という方が実状に即しているようです。

ただ、実地調査の件数自体は減少していますが、1件当たりの申告漏れ所得金額は過去最高を記録しています。深度ある調査が行われているようです。

